



# JPI催しのご案内

2010

8

月

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

## 開催要領

**会場** 社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

**日時** 平成22年8月26日(木) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

**参加費** JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1講演あたり)

### 第1部 第182回生活者包装研究会

13:15~15:00

【テーマ】「化粧品における合法的魅力化 ~魅力的な商品づくりのための法的要件の遵守と商品設計ポリシー~」

【講演①】化粧品の表示に関する法規制について

【講師】トゥ・ビー事務所 化粧品アドバイザー

渡部展弘氏

世の中に出回っている製品には何らかの法律、業界自主基準等で表記しなければならない事項が決められています。今回は化粧品に限定して表記しなければならない事項について薬事法及び化粧品の公正競争規約を中心に説明します。化粧品の容器は小容器から複雑な形をした容器、さらに詰め合わせ容器まで多彩です。それらには全て責任表示が必要です。法

を遵守し、どのように対応しているかを紹介します。世の中にはこの表示は違反ではないかと思われる化粧品がありますが、具体的な例を示しながら違反事例に該当するかないかを紹介します。又、広告・宣伝に関する表示規制についても触れたいと考えています。

【講演②】化粧品の表示に関する実施例

【講師】美裕デザインオフィス パッケージデザイナー

丹羽達雄氏

化粧品にはスキンケア・メイクアップ・ヘアケアなど数多くの商品がラインアップされていますが、今回はメイクアップ(小容器)の実施例を参考に、規約を遵守しながら消費者がおしゃ

れに使用でき購入するときは必要な情報がわかり易く表示されている事例を紹介いたします。

【コーディネーター】(株)旭紙工 業務部 マネージャー 包装専士  
大正製薬(株) デザイン部 表示管理グループ 包装管理士

浦川英三氏  
原寿氏

### 第2部 第62回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】「デザイナーにおけるUD・エコパッケージの開発について」

パッケージの命を全うさせる！  
お客様が、会社を知るのは商品から。商品は会社そのものです。プロダクトの価値が、“モノ”から“コト”そして“ひとの時代”へ移り、3R(Reduce, Reuse, Recycle)時代とも言われ、プロダクト設計において、環境問題は必須となりました。「商品の購入からパッケージの廃棄

まで、無駄なく使いきってもらいたい!!」企業理念をカタチにし、社会貢献をすることが、デザイナーの役割と考え、新しい価値と喜びのため、リスクを超え挑戦し続けます。“全ての方にとって使いやすい商品”を目指して、より良い今を次世代に残すため、ひとと地球に優しいパッケージの開発事例をご紹介します、共に勉強いたしましょう。

【講師】コーセーコスメポート(株) 商品開発部 デザイン室 室長

山田博子氏

【コーディネーター】(株)コーセー 商品デザイン部 グループマネージャー 兼 設計課長  
花王(株) 包装容器開発研究所 室長

住瀬雅広氏  
大谷憲一氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

## 8月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般		いずれかに必ず○を付けて下さい	
会社名		TEL	
所在地	(〒 )	FAX	
参加者	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部
	(氏名)	(所属役職)	
	(e-mail)	@	第1部・第2部